

令和 2 年 12 月 5 日

東京都における COVID-19 透析患者の新規感染者数急増に対する対策へのご協力をお願い

東京都透析医会 会長 安藤亮一
東京都 COVID-19 透析医療コーディネーター 菊地 勤

平素より当会の運営にご協力いただきありがとうございます。

COVID-19 の第 3 波が始まり約 1 か月が経過しました。

この 1 か月間で、東京都の COVID-19 透析患者数は、83 人から 116 人(新規感染者数 33 人)と、非常に急速な感染者の増加を認めています(表)。

すでに 23 区では、COVID-19 透析患者の入院ベッドは満床に近い状況にあり、三多摩地区でも予断を許さない状況にあります。

まず、維持透析施設におかれましては、すでに十分な感染対策を行っていることと思いますが、患者指導を含む更なる感染対策の徹底をお願いいたします。特にこの流行期においては、患者および医療従事者ともに、不要不急の会食や旅行などを控えるようお願いいたします。

また、すでに入院ベッドが満床に近い状況ですので、COVID-19 透析患者の入院管理を行っている病院が退院可能と判断した場合、維持透析施設においては速やかな受け入れをお願いいたします。退院がスムーズに進まなければ入院患者が滞り、結果として新たな患者の受け入れができず、維持透析施設で感染患者の透析を数回はお願ひすることになります。すでにそのような状況に近いことを十分にご理解の上、スムーズな退院の受け入れをよろしくお願いいたします。

なお、これまでの東京都における入院調整の経験では、退院可能と判断された COVID-19 透析患者が原因となった、維持透析施設での COVID-19 透析患者発生の事例はありません。

何卒、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

表 東京都における COVID-19 透析患者数の推移

日付	10月30日	11月6日	11月13日	11月20日	11月27日	12月4日
人数	83	89	96	103	109	116